

令和6年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立西小松川小学校

校長名 落合 由美子

名称:みんなの時間

学校の教育目標	考える子 やりぬく子 明るい子
---------	-----------------

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。

(2) 実社会や実生活の中から問いを見出し、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

- 横断的・探究的な学習を通して「地域を知り、互いを思いやり、奉仕する心」を培う。PTAと協力して実社会や実生活で生きて働くものとして育成する。
- 地域社会に関する学習課題を重点とし、「地域力」を活用した学習活動を展開するとともに、地域をフィールドとした体験的学習に取り組み、地域及び人々に対する親しみと愛着を育てる。
- 学校図書館やインターネットを活用して主体的に調査したことを、整理したり分析したりして様々な方法で発信する活動を行い、言語活動の充実を図るとともに学び方やものの考え方を身につける。
- 身近な環境問題に関心をもたせ、改善に向けて主体的に行動し、探究的な活動を通して、学校全体で省エネルギー・省資源に取り組める資質を育てる。
- ボランティア活動での幼稚園、保育園などの施設、視覚障害者の方々との交流を通して「地域に貢献する自分」を自覚し、自己の生き方を考えることができるようにする。

育てようとする資質や能力及び態度

知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 課題について理解し、理解したことを様々な方法で伝えられることができる。 異なる意見や他者の考えを受け入れる。 課題の解決に向けて地域の活動に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と協働して課題を解決する。 自らの生活の在り方を見直し、実践する。
思考力・判断力・表現力	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題づくりに必要な情報を適切な方法で収集する。 情報を選んだり、比較したりしながらまとめ、表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の課題について見通しをもって、解決方法や手順を考える。 考える為の技法を使い、情報を整理分析し、目的に応じてまとめ、表現する。
学びに向かう力・人間性	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとする。 地域との関わりの中で自分のできることを見付けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 目的をもち、友達と粘り強く取り組み、自分のよさを伸ばそうとする。 地域の課題を自分事として捉え、自分のできることを考えて自ら関わろうとする。

内容	学習対象	学習事項
第3学年	小松菜栽培の歴史や伝統を継承する人々	地域の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思いを知る。 地域に対する親しみや愛着をもつ。
第4学年	福祉体験・ガイドヘルプ体験 ～松島バリアフリー探検隊～	障害のある方たちの生活や、高齢者について知る。
第5学年	SDGs ～今の自分にできること～ グリーンプラン(ピクトグラフ)	持続可能な開発目標(SDGs)について知り、自分事として考えながら、今の自分達が目標達成のためにできることを考える。
第6学年	松島の町～わたしたちができること～	地域のよさや課題を知り、地域の一人としての自覚をもつ。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は地域、4年生は福祉、5年生は環境、6年生は防災を主なテーマとする。 ・単元は学年で開発し、年間1～2単元、各学年35時間程度とする	・「探究的な学びの学習過程」を各教科ので活用 ・思考ツールの活用 ・読書科を通して、探究的な学習の実施と充実 ・児童の課題意識をもたせる工夫 ・個に応じた指導の工夫 ・諸感覚を駆使する体験活動の重視 ・教科、学校2020レガシー創造プランと関連的な指導の重視 ・協働的な学習活動の充実	・運営委員会における校内の連絡調整と支援体制の確立 ・地域教育力の人材バンクへの登録と効果的運用	・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・個人内評価の重視 ・学年末における指導計画の評価の実施